

皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはお揃いで、良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はスタグフレーションで明け、年の暮れはサブプライム恐慌と大変難しい年を送りましたが、皆様方のたゆまないご支援を頂き御蔭様で大過なく過ごさせて頂き、ありがたく御礼を申し上げます。

本年は仕事始め早々にこれらの難問題にどう対応していくかを問われる年であります。

これだけ素晴らしい情報産業が発達している現代の経済社会は何故、この不況を予知し、素早く対応ができなかったのかと問われるならば、多くの人々が自分達だけの利益・欲望を求め、自己中心的な経済社会を作り、政治もまた市場原理主義の行き過ぎた規制緩和を容認し、従来の慣習や人間関係を無視したからであります。

しかし、私達経済に携わる者はバブル景気の様な春や夏の日もあれば、デフレやスタグフレーションの秋や冬の季節もある事を自らを諭して決して夢と誇りを失わないことであります。

この恐慌に屈しない方法は周囲に良き先輩・友人を持ち、不安感や恐怖感を持たないことであります。

氾濫する情報よりも良き先輩・友人達からの情報を信頼活用することです。会議所とは特定な大きな力のあるものを支援するものではなく、小さな者達が力を合わせて大きな力と対等な力を発揮する為の相互扶助の組織であります。温かみある人間関係を大切に厳しい困難に立ち向かって行く気力を支えてくれる所です。

鈴木市政の夢と誇りのあるまち作り 1% 支援事業を軸に、市民全体が恩恵を受けられる循環経済を強力に進めて参りたいとお願いいたしております。

私達の子供達や孫達がこのまちで生まれ育ち、このまちで学び、このまちで働き結ばれ、私達もまた余生を託するまちを作ることは現代を生きる私達に与えられた義務と責任と夢であります。

若し私達がこの役目を怠り、諦め放棄したならば子供や孫達がこのまちから離れ無惨な廃墟となりましょう。不況とは！恐慌とは！決して貧しいことだけではありません。

心豊かな家族・先輩・友人達との温かい絆を取り戻す良き機会であります。経済の豊かさは、家族の幸せとは必ずしも一致しなかったことは高度成長以来の歴史が教えてくれている通りであります。

チャップリンが言った好きな言葉に『勇気と希望…そしてサムナー』

今年も良き仲間達がいることを信じて、健康で笑顔を忘れないで一緒に頑張りましょう。

